

選 定

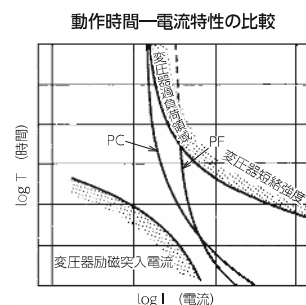
選定上特に注意すべき事項

ヒューズの選定にあたり定格電圧、定格周波数のもとで規定の温度上昇限度をこえないで連続通電でき、しかも適用する回路の機器の全負荷電流、突入電流、起動電流などでヒューズが溶断したり劣化しないような定格電流ヒューズを選定することが重要です。

■ 変圧器保護用の場合

変圧器保護用の場合は次の(1)～(3)の基準をご参照の上選定してください。

- (1) ヒューズの定格電流は、負荷電流が安全確実に流せること。
- (2) 変圧器の励磁突入でヒューズが劣化しないこと。
- (3) 変圧器の二次側短路に対して、変圧器の劣化以前にヒューズが動作すること。
- (4) その他必要な場合関連機器の協調を考慮して選定してください。



ヒューズ容量の選定

■ 単相・単相Δ結線・三相変圧器保護のヒューズ選定

変圧器容量 [kVA]		単 相				単相Δ結線				三 相			
		1次側 電流 [A]	適用ヒューズ [A]			1次側 電流 [A]	適用ヒューズ [A]			1次側 電流 [A]	適用ヒューズ [A]		
			速動形 テンション	遅動形 タイムラグ	遅動形 ダブル		速動形 テンション	遅動形 タイムラグ	遅動形 ダブル		速動形 テンション	遅動形 タイムラグ	遅動形 ダブル
3.3kV	6.6kV												
1	2	0.3	1	—	—	0.52	2	1	—	0.17	—	—	—
(1.5)	3	0.45	2	—	—	0.79	5	1	—	0.26	1	—	—
2	4	0.61	3	1	—	1.05	5	2	—	0.35	1	—	—
(2.5)	5	0.76	5	1	—	1.31	5	2	—	0.44	2	1	—
3	6	0.91	5	2	—	1.57	5	2	3-3	0.52	2	1	—
—	7.5	1.14	5	2	—	1.97	5	2	3-3	0.66	3	1	—
5	10	1.52	5	2	3-3	2.62	7	3	3-3	0.88	5	1	3-3
7.5	15	2.27	5	3	3-3	3.94	10	5	5-5	1.31	5	2	3-3
10	20	3.03	10	5	5-5	5.25	15	7	7-7	1.75	5	2	3-3
15	30	4.55	10	5	5-5	7.87	20	10	10-10	2.62	5	3	3-3
20	40	6.06	15	10	10-10	10.5	20	15	15-15	3.50	7	5	5-5
25	50	7.58	15	10	10-10	13.1	30	20	15-15	4.37	10	5	5-5
30	60	9.09	20	10	10-10	15.8	30	20	20-20 (筒形)	5.25	10	5	5-5
—	75	11.4	20	15	15-15	19.7	50	30	—	6.56	15	10	10-10
50	100	15.2	30	20	20-20 (筒形)	26.2	50	30	—	8.75	20	10	10-10
75	150	22.7	50	30	—	39.4	100	—	—	13.1	30	15	15-15
100	200	30.3	75	—	—	52.5	100	—	—	17.5	30	20	20-20 (筒形)
150	300	45.5	100	—	—	78.7	—	—	—	26.3	50	30	—
200	—	60.6	100	—	—	—	—	—	—	35.0	50	—	—
300	—	90.9	—	—	—	—	—	—	—	52.5	75	—	—

- (注) 1. 変圧器の励磁突入電流は定格電流の12倍(但し、単相の100kVA以下は15倍)(0.1秒通電)を基準として選定しています。
2. 変圧器の二次側短絡電流は定格電流の25倍(2秒通電)を基準として選定しています。